

美列國分寺は二月會は且供之無事

烟夏天下

大且供日ウホ丸之のウー

ウーウーウーウーウーウー

大且供日ウホ丸之のウー

大且供日ウーウーウー

大且供日ウーウーウー

日 日 日 日 日 日 日 日

日 日 日 日 日 日 日 日

日 日 日 日 日 日 日 日

日 日 日 日 日 日 日 日

日 日 日 日 日 日 日 日

日 日 日 日 日 日 日 日

日 日 日 日 日 日 日 日



日

以下男又助

日中川 宗屋金

日 夫大 宗人 小侍

日 甚了

大且供

音付抄

大且供

日 少 由 供

大且供

日 抄 入 供

大且供

人 仁 校 友 友 友

大且供

由 家 老 屋 友

大且供

中 主 供 友

大且供

日 少 由 供

大且供

今 夕 友 友 友 友

日 抄 友

大島信

くろまゐたふく

二の丸ノ

じまのうし

山村新米

あめのうし

月おと夜

かのうし

月昼のゆ

このうし

つとむ

十八

残子

午のうし

かのうし

夕のうし

夕のうし

このうし

たつめのうし

ふきのうし

このうし

のうし

猪ハ

このうし

午のうし

このうし

十七

おひ

このうし

このうし

一徳光

お喜

このうし

小信

このうし

おと

このうし

このうし

市三

このうし

このうし

おと

このうし

このうし

おと

このうし

このうし

おと

このうし

このうし

おと

このうし

このうし

おと

このうし

このうし

十六

十七

十八

之
十二

おとほ
ちうまのし
のころ

ちうまのし
のころ
のころ

のころ
のころ
のころ

のころ
のころ
のころ

のころ
のころ
のころ

のころ
のころ
のころ

のころ
のころ
のころ

のころ
のころ
のころ

のころ
のころ
のころ

のころ
のころ
のころ

のころ
のころ
のころ

のころ
のころ
のころ

のころ
のころ
のころ

のころ
のころ
のころ

のころ
のころ
のころ

のころ
のころ
のころ

のころ
のころ
のころ

のころ
のころ
のころ

國分孝修二月會且供名帖



特別
八 4
4429
16